

[要点]

- (1)9世紀中ごろから藤原氏が勢力をのばしてきた。藤原氏は娘を天皇のきさきにして、孫である皇子を天皇にたてた。
- (2)天皇が幼少のときは摂政として、成人してからは関白として政治の実権を握った。これを摂関政治という。11世紀の藤原道長・藤原頼通親子のときがその最盛期であった。
- (3)平安時代中ごろ、社会が乱れ、末法思想が広がった。阿彌陀仏にすがって極楽浄土に生まれようという浄土信仰が盛んになった。
- (4)藤原頼通は、この世に極楽浄土のようすを表そうとして、宇治に平等院鳳凰堂を建てた。

[A問題：要点確認]

- (1)9世紀中ごろから()氏が勢力をのばしてきた。藤原氏は娘を天皇のきさきにして、孫である皇子を天皇にたてた。
- (2)天皇が幼少のときは摂政として、成人してからは関白として政治の実権を握った。これを()という。11世紀の()・藤原頼通親子のときがその最盛期であった。
- (3)天皇が幼少のときは()として、成人してからは()として政治の実権を握った。これを摂関政治という。()世紀の藤原道長・()親子のときがその最盛期であった。
- (4)平安時代中ごろ、社会が乱れ、末法思想が広がった。()仏にすがって極楽浄土に生まれようという()信仰が盛んになった。
- (5)平安時代中ごろ、社会が乱れ、()思想が広がった。阿彌陀仏にすがって()に生まれようという浄土信仰が盛んになった。
- (6)藤原頼通は、この世に極楽浄土のようすを表そうとして、宇治に()を建てた。
- (7)()は、この世に極楽浄土のようすを表そうとして、()に平等院鳳凰堂を建てた。

[B問題]

- (1) 藤原氏は、平安時代に天皇の補佐役となって実権をにぎり、政治を行った。このような政治を何というか。
- (2) 藤原氏は天皇が幼少のときは(A)、天皇が成人してからは(B)として政治の実権を握った。
- (3) 藤原氏の摂関政治は誰親子のときが最盛期か。また、それは何世紀か。
- (4) 阿弥陀仏にすがって極楽浄土に生まれ変わろうという信仰は何か。
- (5) 浄土信仰の影響を受けてつくられた宇治にある建築物は何か。
- (6) 平等院鳳凰堂をつくったのは誰か。

[解答] (1) 摂関政治 (2) A 摂政 B 関白 (3) 藤原道長・頼通 11世紀 (4) 浄土信仰
(5) 平等院鳳凰堂 (6) 藤原頼通

[C問題]

- (1) 藤原氏の一族は、何という人物の子孫か。
- (2) 藤原氏のために右大臣の職を追われ、九州の太宰府においやられた人物は誰か。
- (3) 藤原道長が摂政になったのは何年か。
- (4) 「この世をば、わが世とぞ思う望月のかけたることもなしと思えば」という和歌をつくったのは誰か。
- (5) シャカの死後、年月がたつと仏法がおとろえて世の中が乱れるという思想を何というか。
- (6) 極楽浄土に生まれ変わることを助けてくれる仏を何というか。
- (7) 阿弥陀仏をまつるために建てられたお堂を何というか。

[解答] (1) 中臣鎌足 (2) 菅原道真 (3) 1016年 [参考] 威令広(1016)まる道長さん (4)
藤原道長 (5) 末法思想 (6) 阿弥陀仏 (7) 阿弥陀堂